

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 781 事業名 給食援助事業（中学校）

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	4	健康教育の充実
基本方針	2	学校給食の充実

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	学校給食法第7条第2項	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健給食管理課	守脇 秀治 (435-1137)
関連課		

〔事業基本情報〕

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	中学校費	
	目	中) 学校管理費	
	大事業	中学校管理事業	
事項	給食援助事業（中学校）		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 経済的理由によって就学困難な生徒について、学校給食費を援助する。	事業内容 準要保護生徒に係る給食費を交付する。				
	実施内容	平成25年度 準要保護生徒に係る給食費を交付した。	平成26年度 準要保護生徒に係る給食費を交付する。	平成27年度 準要保護生徒に係る給食費を交付する。	平成28年度 準要保護生徒に係る給食費を交付する。	平成29年度 準要保護生徒に係る給食費を交付する。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	39,154	20,757	50,230		50,230		50,230		50,230	
伸び率 (%)	-	-	28.3%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,496	1,557	1,557	1,557		1,557		1,557	
	非常勤職員									
	小計	1,496	1,557	1,557	1,557		1,557		1,557	
国庫支出金										
県支出金	29	0	29		29		29		29	
市債										
その他										
一般財源（税等）	39,125	20,757	50,201		50,201		50,201		50,201	
所要人数	常勤職員	0.20	0.20	0.20	0.20		0.2		0.2	
	非常勤職員									
主な予算内訳	給食費交付金50,230千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	給食費交付金交付者数	年度目標値			725				
		実績値			725				
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%			
			年度目標値	実績値	年度別達成度				
成果指標	給食費交付金交付率	年度目標値			100	100	100	100	100
		実績値			100				
	単位	%	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%			
			年度目標値	実績値	年度別達成度				
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	有効性は高く、今後も継続して実施する必要がある。
「見直し」 「改善」案	